

園だより

令和元年7月1日
板橋区立こぶし保育園

梅雨真っ只中ですが、沖縄では梅雨が明けたそうです。関東は梅雨が明けるまでには、もう少し時間がかかりそうですね。子ども達は梅雨の合間の天気の良い日は、外へ出て元気に遊ぶようにしています。保育園に戻り、汗をシャワーで流したり、濡れたタオルで汗をふき取り気持ち良く過ごし、美味しく給食を食べ、お昼寝をするという衛生的で健康的な生活をしていきたいと思えます。

先月は、第1回目の運営委員会や夕涼み会の打ち合わせにご参加ありがとうございました。6日には夕涼み会もありますが夕涼み係りの保護者の皆様方、宜しくお願い致します。

毎年、子ども達は夕涼み会を楽しみにしています。子ども達にとって夕涼み会は夏の楽しみです。在園児だけでなく卒園をした子ども達も卒園してからも、子どもの頃の楽しかった事を忘れずに、こぶしっ子として参加してくれます。今年もこぶしっ子（高校生～小学4年生）として手伝いに来てくれます。小さな先生となって、各コーナーで力を発揮してくれる事と思えます。こぶしっ子として関わることで、自分達も大切に育てられてきたことを知り、自信に繋がってほしい、小さな子どもの可愛さや保育の魅力を知って貰う、働くことの意義や大切さを知る機会に繋がってほしいと思えます。

これから、暑い日が続くと思いますが、お体に気を付けてお過ごし下さい。

三井 貴子

月の予定

- (1) プール開き
- (6) 夕涼み会
- (11) 太鼓活動 (5歳児)
- (17) 0歳児健診
書き方教室
- (25) 誕生日会
- (26) 避難訓練

写真の購入について

2回目のネット販売を行います。

販売期間

- 親子で収穫体験 (全園児)
- ジャガイロ掘り (5歳児～3歳児)
- 保育 (2歳児～0歳児)

梅雨の合間に5歳児から3歳児は、川口農園にじゃがいも掘りへ行きました。2週間、じゃがいも掘りを伸ばした分、じゃがいもの大きさも丁度良い大きさに成長していました。力を入れて手で土を掘るとじゃがいもが土の中から顔を出す。何かがあるよ。もっと掘ってみようか？「あった！あった！じゃが芋だ！」と嬉しそうなお子ども達でした。保育園では、収穫したじゃが芋を日に当て、甘みを出した数日後に3歳児が洗う手伝いをしてくれました。その後、みんなでホールに集まり、茹でて食べました。やはり自分で収穫したじゃがいもの味は格別です。

プールの監視の体制について

大人2名で監視を行いながら、安全、安心なプール活動に努めていきたいと思えます。監視体制をとる事が難しい場合は、プール活動は、行いません。

プールについて

夕涼み会明け、丸太を利用してプールを作ります。どのようにプールが出来るのか、子ども達と見学をします。プールとして使用しない時は、その交換で他の遊びを展開していきます。

ワーカーズコープの現場は全国に子育て関連（保育園、学童保育）清掃、サポステなど色々な仕事の現場があります。こぶし保育園は、毎年、三陸より魚が届きます。その魚を利用して食育の中で魚下しを行っています。今年は木や松ぼっくりなどの自然物を兵庫県の林業の事業所から届き、保育の中で、木や自然物を利用して木育を進めていきます。子ども達が手で触れ、臭いも嗅ぎ、想像豊かに楽しみ、子どもがより豊かに育つ取り組みをワーカーズの全国ネットを利用しながら進めていきます。



兵庫県の林業事業所から作ってもらった木のおもちゃ
(型はめ、ポットン落とし)

園全体で異年齢の交流を大切にしながら、保育をしていきます。今は一人っ子や兄弟がいても少人数です。小さい子は壊すのが専門です。一緒に遊んでも大きな子が作ったものを「ばーっ」と壊してしまう時もあります。大きい子も最初は、怒ったり、「Aちゃんこっちに来ないで」と言う事もありますが、小さい子と一緒に遊びたいんだと、だんだん知恵を絞って「ここやっていいよ」と同じ場所で参加させてあげるようになってきます。

そして、頼られることに責任感が生まれ、その姿を更に認めることで自信に繋がります。このように異年齢保育の中では向社会性、愛着関係、受容性が子どもの心に育ちます。兄弟、親子のような愛着関係の形成、思いやり、遊びを壊す年下の子を受け入れる等、他者を尊重し主体的に行動しようとするなど、自然に子ども達同士で広がり受け継がれていくような交流を大切にしていきます。